

「第 11 回 IR グッドビジュアル賞」の受賞について

SWCC株式会社(本社:神奈川県川崎市、代表取締役 CEO 社長執行役員:長谷川 隆代、以下「当社」)は、IR グッドビジュアル賞実行委員会(一般社団法人日本 IR 協議会、株式会社バリュークリエイト)が主催する「第 11 回 IR グッドビジュアル賞」において、「2024 年 3 月期 第 2 四半期 決算補足説明資料」内の該当スライドが評価され、初受賞しましたので、お知らせいたします。

■本賞の趣旨

本賞は「1 枚であっても効果的に企業価値を伝える IR スライド」の優秀な作品を表彰し、その好事例を共有することで、IR 担当者の皆様に具体的なヒントを提供することを目的としています。

■受賞スライド

2024 年 3 月期 第 2 四半期 決算補足説明資料

現状分析①：資本効率を踏まえた構造改革による収益性改善の変遷

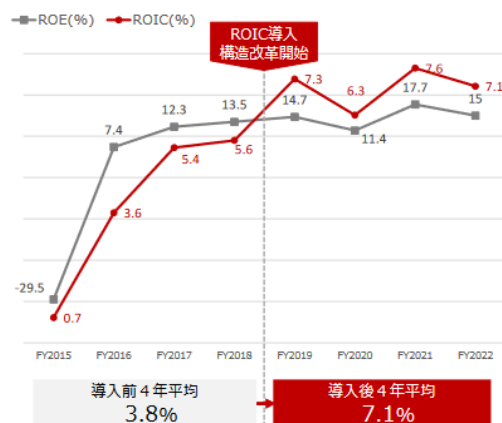


2019年度にROICを導入し構造改革を開始して以降順調に収益性を改善し、ROE・ROICともに向上。

～主な国内生産拠点の再編と不採算事業の撤退～

2019年度 昭和電線ユニマックを完全子会社化
2020年度 昭和電線ユニマックに多摩川電線を吸収合併
ゴム線事業の売却
ダイジの解散
2021年度 制振制音事業の昭和サイエンスへの移管
ロジス・ワークスに昭和リサイクルを吸収合併
通信ケーブル拠点再編・青森昭和電線の解散
海老名工場の売却
2022年度 建設関連のSFCC製販事業統合

<収益改善の成果>	FY2020	FY2021	FY2022	累計
制振・制音事業統合		1	1	2
SFCC製販事業統合			3	3
巻線事業の合理化	3	3	3	9
ワイヤハーネスの海外シフト	5	7	7	19
通信ケーブル生産拠点再編		3	8	11
合計(単位:億円)	8	14	22	44



受賞スライドを含む資料は、下記よりご覧ください。

<https://pdf.irpocket.com/C5805/NvAy/PT8n/EJ2f.pdf>

■受賞企業一覧

「第 11 回 IR グッドビジュアル賞」には、67 社の上場企業から応募があり、その中から当社を含む下記の 7 社が受賞しました。

(証券コード順)

- 3440 日創プロニティ株式会社(初受賞)
- 4204 積水化学工業株式会社(2 年ぶり 2 回目受賞)
- 5301 東海カーボン株式会社(2 年連続 3 回目受賞)
- 5805 SWCC株式会社(初受賞)**
- 7012 川崎重工業株式会社(2 年連続 2 回目受賞)
- 8053 住友商事株式会社(初受賞)
- 8252 株式会社丸井グループ(4 年ぶり 2 回目受賞)

■審査員コメント(一部抜粋)

- ・ 上手いスライド構成。16×9 のサイズを効果的に使っている。
- ・ ROIC 改善の歴史が読みやすくきれいにまとまっている。左下の収益改善の結果の表はわかりやすい。
- ・ 会社の意図がしっかり伝わる。豊富な情報の整理、グラフで導入前後の違いを際立たせている。
- ・ ROIC を語るのには素晴らしい。次回は WACC を伝えて欲しい。

※[IR グッドビジュアル賞の詳細はこちら](#)

今後も全てのステークホルダーの皆様にとって、分かりやすい情報発信を行うとともに IR 活動の充実に取り組んでまいります。

以上